

学校の教育活動についてのアンケート調査結果について

1 調査に関して

- 実施時期 令和8年1月中旬
- 調査1 全家庭対象 回答率 84.6%
- 調査方法 本校の教育に関する質問調査（15項目 4段階評価）及び自由記述
- 調査2 全児童対象 回答率 94.1%
- 調査方法 児童の意識に関する質問調査（16項目 4段階評価）及び自由記述

2 質問調査の結果 は向上が見られた項目（令和6年度との比較）

	項目（1～11は子ども主体、12～15は学校主体）	R6 児童	R7 児童	R6 保護者	R7 保護者
1	子どもは楽しく学校に通っている	3.56	3.44	3.58	3.59
2	子どもは授業が分かっている	3.36	3.27	3.02	2.99
3	子どもは楽しく読書をしている	2.93	2.91	2.25	2.22
4	子どもは家で学習する習慣が身に付いている	2.98	3.04	2.59	2.63
5	子どもは進んで運動している	3.27	3.36	2.90	2.87
6	子どもは履物をそろえている	3.38	3.46	2.54	2.54
7	子どもは早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている	3.50	3.56	3.03	3.14
8	子どもは気持ちの良い挨拶をしている	3.09	3.14	2.85	2.84
9	平日のメディアの使用時間は90分以内である	2.81	3.01	2.55	2.47
10	子どもはいじめをせずに友達と仲良くしている	3.75	3.73	3.73	3.72
11	子どもは自分の良さや成長を感じている	3.21	3.37	3.12	3.23
12	学校は基礎的な学力が身に付くように取り組んでいる	3.56	3.43	3.35	3.35
13	学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる	3.46	3.51	3.31	3.29
14	学校は家庭への積極的な情報提供を行っている			3.50	3.49
15	学校は一人一人の子どもを大切にした教育を行っている	3.34	3.37	3.37	3.38

※ 評価値

4段階評価の「よくあてはまる」を4ポイント、「だいたいあてはまる」を3ポイント、「あまりあてはまらない」を2ポイント、「あてはまらない」を1ポイントで集計した平均値

※ 児童調査

保護者対象の調査項目と同様の質問について児童自身の立場で回答する。

（例）【保護者対象の調査項目】子どもは、楽しく学校に通っている。

3 主な自由記述

[学校の指導方針等、学校全体について]

- サポーターさんとの交流がいつも楽しそうで良い。
- サポーターさんに登下校の見守りや授業にも協力していただき、感謝している。
- 小テストを続けてほしい。

- ハッピーワードの取組は、子どもにも分かりやすくて良いと思うので続けてほしい。
- 漢字博士は学習したことの定着になるので、続けてほしい。読書bingo、ラリーは、普段選ばない分野の本を借りるきっかけづくりになっている。
- 先生たちの負担が少なく、業務に楽しく取り組むことができる環境になってほしい。「教員」を志したきっかけや信念を大切に頑張ってほしい。
- 変えられるものは変えて、子どもはもちろん、先生たちも過ごしやすい学校になったらいいなと思う。
- 校舎が新しくなると、児童や先生の気持ちも明るくなる。黒板も見やすくなる。
- 長期休暇中はクロームブックの宿題をなくして、紙媒体のワークをした方が学力が付くのでは。eライブラリーの良さが分からぬので教えてほしい。
- 夏休みの読書感想文は親の宿題になるので、廃止してほしい。
- PTA活動など、保護者の負担をなくしてほしい。
- 役員の割り振りや選任の人数が多すぎる。活動を精選し、全員平等に同じ回数役員が当たるようにしてほしい。世帯数、人数が少ない地域は同じ人ばかりが総務になる。
- クラス写真や先生方が撮っている写真を購入したい。

[行事関係について]

- 運動会はこれまで通り、午前中開催が良い。
- なかよし会はせず、金一フェスティバルだけで良いと思う。

[教師の指導について]

- 学校でいろいろな役目を果たせたことが自信につながっている。テストや宿題を丁寧に見てもらって有難い。
- 音読カードなどで、日々の様子を教えてもらって有難い。
- 丁寧な対応や子どもの良さを伸ばす指導が、子どもの話や懇談、音読カードのメッセージなどから伝わってきて有難かった。
- 情報交換をこまめにしてくれて有難い。
- 子どもがけがをしたときに丁寧に対応してもらい助かった。普段の様子もよく見てく れて有難い。
- 一人一人をしっかりみてほしい。
- 子どもが授業をあまり分かっていない。

4 考察

(1) 成果

- 「早寝・早起き・朝ごはん」や「履物揃え」、「気持ちの良い挨拶」など、基本的な生活習慣に関する評価の児童の評価が向上した。学校と家庭が連携し、児童に正しい生活習慣が身に付くように繰り返し声掛けするなど、日々取り組んでいる成果だと言える。
- 「自分の良さや成長を感じている」の評価値が、児童、保護者ともに大きく向上した。今年度、学校全体で児童の自己有用感や自己肯定感を高める活動を行うとと

もに、やさしい子の育成に努めてきた。児童は、学級の友達だけでなく、スマイル班や金一っ子サポーターさんなど、いろいろな人との関わりを重ねてきた。たくさんの人のやさしさに触れる活動は、児童の心を温かくするものであった。また、いろいろな人から「きらきらカード」をもらうことで、児童は自分や友達の良さに気付き、自己有用感や自己肯定感を高めることができた。

- 「平日のメディアの使用時間は90分以内である」の評価値が、児童で高くなっている一方、保護者では低くなっている。家庭でメディアの利用に関する約束事を見直したり、適切なメディア利用について話し合う機会を作ったりするなど、親子で共通理解を図る必要がある。
- 「いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の評価値が、児童で向上した。昨年度の課題から、「心のお天気しらべ」の質問項目を見直し、児童の人間関係をより正しく把握できるようにした。また、学校全体で児童の人間関係を把握し、教員間で共通理解を図ることで、児童の小さな変化にも、いち早く対応することができた。今後も複数体制で対応するとともに、児童が誰かに相談し、早期に問題の解決を図れるように努める。

(2) 課題

- 「楽しく学校に通っている」の評価値が、児童で低くなっている。「学校は基礎的な学力が身に付くように取り組んでいる」の評価値も児童で低くなってしまっており、学校での学習について見直す必要がある。児童にとって学校にいる時間の大半は授業である。そのことを頭に入れ、「分かる授業」「楽しい授業」を目指して授業改善を行う。一人一台端末を有効に活用し、個別最適な学習を行うとともに、「小テスト」や「漢字はかせ」などの学習活動に丁寧に取り組むことで、基礎的・基本的な学力の定着を図りたい。また、小テストの内容を見直すことで、「読む力」や「書く力」などの応用力も身に付けさせたい。

5 検討事項

[学習指導について]

一人一人が「分かった・できた」と実感できる授業づくりを目指していきます。

「分かる授業」「楽しい授業」になるように、一人一台端末を今後も有効に活用していきます。授業中、自分の考えをしっかりと表現したり、友達の意見を聞いたりするなどの意見交流を通して、理解が深まるような授業改善に努めます。学習の進度や児童の実態に応じて作成した小テストを活用し適切に復習を行ったり、児童が意欲的に頑張っている金一小伝統の漢字はかせを全校で統一した日程の基行ったりすることで、基礎的・基本的な学力の定着に努めます。

[児童理解について]

日々の関わりを大切にして、金生第一小学校の全教職員が児童一人一人を大事にした教育活動を行っていきます。授業中、学校生活全般を通して様々な場面で、温かい声掛けや見守りを行うことで、児童との信頼関係の構築に努め、児童理解を深めます。今後も、音読カードの保護者から得られる家庭での様子や対話を大切にして、家庭との連携を密にしながら進めていきます。

[長期の宿題について]

児童の発達段階に応じた課題を出します。学年・学校全体で相談して、クロームブックを活用したドリル学習で、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。クロームブックでのドリル学習は、一人一人が自分の学習状況に応じて問題を選び、学習に取り組むことができるため、得意を伸ばして不得意を無くすこと（個別最適な学び）につながります。回答は自動採点されるため、答えの確かめがすぐにできるという利点があります。必要に応じて何度も同じ問題に取り組むことができるため、学習内容の定着を図ることができます。また、紙媒体のワーク学習を通して応用問題に取り組むことで、思考力・判断力・表現力の育成も目指します。夏休みの読書感想文については、休み前に作文指導を行うなど、児童が自分で取り組むことができるような手立てを行っていきます。

[P T A活動について]

P T A活動の役員の割り振りや活動については、正副会長会や総務会・代表代議員会で、毎年話し合って決めています。家庭の負担を考え、行事を精選するなど、今後もP T Aの在り方について検討していきます。